

問1 秋田県の自然環境と農業の関係について説明した文として、地形や気候の特色をふまえて述べた最も適切なものはどれですか。 (2015年

千葉県公立入試 類似)

1. 奥羽山脈の西側に位置して冬の降雪が多く、その雪解け水を農業用水として利用することで大規模な稲作が行われている。
2. 奥羽山脈の東側に位置しており、夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響を避けるために、果樹栽培を主な産業としている。
3. 人口密度が非常に高く、卸売業の拠点が集中しているため、県外から仕入れた米を加工して出荷する製造業が産業の中心である。
4. 日本海を流れる暖流の影響で冬も温暖であり、降雪がほとんどないため、一年を通じて野菜を栽培する二毛作が普及している。

問2 北海道東部の根釧台地は、夏でも気温が上がりにくく霧が発生しやすい気候条件や、火山灰に覆われた土地という特徴があります。このような自然環境を活かして、この地域で最も盛んに行われている産業の説明として正しいものはどれですか。 (2026年 茨城公立入試 類似)

1. 広大な土地に牧草地を整備し、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農が盛んに行われている。
2. 大規模な機械化によって、ジャガイモや小麦、甜菜（てんさい）などを生産する畑作が中心となっている。
3. 泥炭地を客土（他の場所から土を運び入れること）によって改良し、大規模な水田による稲作が行われている。
4. 冬の寒さを活かしたビニールハウス栽培が行われ、夏に都市部へ出荷する抑制栽培が発達している。

問3 1993年の夏季、青森県八戸市などの東北地方太平洋側では、7月および8月の月別日照時間が平年値を大きく下回り、月平均気温も平年より大幅に低い記録的な異常気象となりました。この気象条件が日本の農業に与えた影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2021年 和歌山公立入試 類似)

1. 日照不足と低温によって稲の生育が著しく妨げられ、記録的な不作（冷害）となった。
2. 梅雨前線の活動が活発で降水量が平年を大きく上回ったため、大規模な洪水被害が発生した。
3. 台風の接近数が平年よりも多かったため、強風によって収穫直前の果実が落下する被害が出た。
4. 日照時間は短かったものの気温は平年より高かったため、病害虫が発生して野菜の価格が高騰した。

問4 東北地方の6県を比較した統計において、ある県の果実の農業産出額は約833億円に達し、他の5県の132～147億円という数値に比べて突出して高い規模となっています。この県名と、その産出額の多くを占める果実の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)

1. 青森県（りんご）
2. 山形県（さくらんぼ）
3. 福島県（もも）
4. 長野県（りんご）

問5 東北地方の内陸部に見られる、周囲を山々に囲まれた低地のことを何と呼びますか。この地形は水はけが良く、さくらんぼやももなどの果樹栽培に利用されているのが特徴です。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 盆地
2. 台地
3. 平野
4. 高原

問6 山形県天童市で伝統的工芸品である将棋駒の製作が盛んになった歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 江戸時代末期に、生活に困窮した武士の副業として奨励されたから
2. 明治時代に、西洋から輸入された木工技術をいち早く取り入れたから
3. 戦国時代に、城郭を建築するための余った木材を再利用したから
4. 大正時代に、鉄道の開通によって全国へ宣伝する広報活動が成功したから

問7 東北地方の各県を比較した統計において、人口が約233万人と最も多く、製造品出荷額（約4.1兆円）や年間商品販売額（約1.2兆円）においても東北地方で最大の値を示している県はどこか。 (2021年 茨城公立入試 類似)

1. 宮城県
2. 青森県
3. 岩手県
4. 福島県

問8 東北地方の諸地域で見られる伝統的な祭りについて、秋田県で行われる「竿燈まつり」を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2024年

鹿児島県公立入試 類似)

1. 多数の提灯を吊るした長い竿を稲穂に見立て、五穀豊穡を祈る行事
2. 巨大な武者人形を象った灯笼を山車に乗せて、街中を練り歩く行事
3. 色とりどりの豪華な吹き流しを竹に飾り、商売繁盛や学問の成就を願う行事
4. 花で飾られた笠を手に持ち、威勢の良い掛け声とともに踊り歩く行事

問9 仙台駅を起点とした東北地方の移動について、鉄道の整備状況と所要時間の関係を示した記述として正しいものはどれですか。なお、仙台駅から盛岡駅へは約39分、秋田駅へは約139分、気仙沼駅へは約129分かかるものとします。 (2026年 広島公立入試 類似)

1. 秋田新幹線が利用できる秋田駅への移動には、東北新幹線が利用できる盛岡駅へ向かうよりも長い時間を要する
2. 気仙沼駅へは新幹線が整備されているため、秋田駅へ向かうよりも短い時間で移動することが可能である
3. 盛岡駅、秋田駅、気仙沼駅のいずれの都市へも、新幹線の整備によって仙台駅から1時間以内で到達できる
4. 新幹線を利用しない気仙沼駅への移動時間は、高速化された在来線により、新幹線を利用する盛岡駅よりも短い

問10 日本の諸地域の交通網について述べた次の説明のうち、岩手県の状況を正しく説明しているものを選びなさい。 (2017年 香川公立入試 類似)

1. 東北新幹線の沿線でもっとも駅数が多く、県庁所在地の盛岡市は秋田方面への路線の分岐点となっている。
2. 東北地方でもっとも人口が多いため、県庁所在地の仙台市を中心に放射状の新幹線網が整備されている。
3. 北海道新幹線の始発点となる県であり、県庁所在地の青森市はすべての新幹線が停車する最大の拠点である。
4. 山形新幹線と東北新幹線が交差する位置にあり、県庁所在地の山形市は奥羽山脈を越える交通の拠点である。

問11 東北地方における8月の気象統計を確認すると、日本海側の都市と比較して、太平洋側の都市では平均気温が著しく低く、日照時間も短くなる年があります。このような現象が起こる原因と、それが農業に与える影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 富山公立入試 類似)

1. オホーツク海高気圧から吹く冷たく湿った北東の風により、冷害が発生する
2. 山を越えて吹き降ろす乾燥した高温の風により、干害が発生する
3. 小笠原高気圧が強まることで連日の真夏日となり、水不足が発生する
4. 暖流の影響で上昇気流が発生し、集中豪雨による洪水被害が発生する

問12 東北地方北部の地図において、青森県と秋田県の境に位置する地域が示されている。この地域にある山地の特徴として最も適切なものはどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)

1. 人為的な影響をほとんど受けていない世界最大級のブナの天然林が分布し、世界自然遺産に登録されている。
2. 東北地方の中央を南北に走り、日本の背骨とも呼ばれる山脈として気候の境界線となっている。
3. 冬には流水が接岸し、海と陸の独自の生態系を持つことから世界自然遺産に登録されている。
4. スギの人工林が広がり、「秋田杉」や「青森ヒバ」の産地として林業が盛んに行われている。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 奥羽山脈の西側に位置して冬の降雪量が多く、その雪解け水を農業用水として利用することで大規模な稲作が行われている。	秋田県は奥羽山脈の西側に位置するため、冬の北西の季節風の影響で多くの雪が降ります。この豊富な積雪は、春先の稲作に必要な農業用水の供給源となります。また、八郎潟の干拓などに代表される大規模な農地整備も行われており、農業産出額の約6割を米が占める全国有数の米どころとなっています。
問2	答え 1 広大な土地に牧草地を整備し、乳牛を飼育して生乳を生産する酪農が盛んに行われている。	根釧台地は冷涼な気候と火山灰土壌のため、稲作や一般的な畑作には不向きですが、牧草の生育には適しています。そのため、広大な土地を利用した大規模な酪農が発達しました。十勝平野で行われている大規模な畑作との違いを理解しておくことが重要です。
問3	答え 1 日照不足と低温によって稲の生育が著しく妨げられ、記録的な米の不作（冷害）となった。	1993年は「平成の米騒動」と呼ばれるほど深刻な冷害が発生した年です。統計資料によると、東北地方の太平洋側を中心に、夏場の日照時間が平年の半分程度まで落ち込み、気温も平年より2〜3度低い状態が続きました。これにより、主食である稲の開花や実りに必要な熱量・光が不足し、収穫量が激減しました。この不足分を補うために、タイなどから緊急で米を輸入する事態となりました。
問4	答え 1 青森県（りんご）	東北地方において、果実の産出額が他の県を圧倒して高いのは青森県です。青森県はりんごの生産量が日本一であり、全国の約半数のシェアを誇ります。選択肢にある山形県（さくらんぼ）や福島県（もも）も全国的な産地ですが、産出総額において青森県のりんごは非常に大きな規模を持っています。なお、長野県もりんごの産地として有名ですが、東北地方ではなく中部地方に属するため、統計の対象から外れます。
問5	答え 1 盆地	内陸部において周囲を山に囲まれた低地を「盆地」と言います。東北地方では山形盆地や福島盆地が代表的です。これらの地域は、山から流れる河川によって運ばれた土砂が堆積してできた扇状地などが発達しており、水はけが非常に良いため、米作りよりも果樹栽培に適しています。
問6	答え 1 江戸時代末期に、生活に困窮した武士の副業として奨励されたから	天童における将棋駒作りは、江戸時代末期の天童藩において、財政難で生活が苦しかった武士を救済するために、藩が副業として推奨したことが始まりです。将棋は兵法にも通じることから、武士の職務にもふさわしいと考えられました。これがのちに伝統産業として定着し、現在に至ります。
問7	答え 1 宮城県	宮城県は東北地方の政治・経済の中心地としての役割を担っています。県庁所在地の仙台市は、東北地方で唯一の政令指定都市であり、多くの企業が集まることで、製造品出荷額や年間商品販売額が他県を大きく上回る突出した値となっています。この統計上の特徴は、宮城県が東北地方における広域中心県であることを示しています。
問8	答え 1 多数の提灯を吊るした長い竿を稲穂に見立て、五穀豊穡を祈る行事	秋田竿燈まつりは、重さ50kgにもなる大きな竿燈を、手のひらや額、腰などに乗せてバランスを取る高度な技術が見どころです。他の選択肢については、武者人形は青森県の「ねぶた祭」、吹き流しは宮城県の「仙台七夕まつり」、花笠は山形県の「花笠まつり」の説明であり、東北各県の特色ある行事と混同しないよう注意が必要です。
問9	答え 1 秋田新幹線が利用できる秋田駅への移動には、東北新幹線が利用できる盛岡駅へ向かうよりも長い時間を要する	東北地方では、東北新幹線の沿線都市である盛岡駅（約39分）へのアクセスが非常に良好です。一方で、秋田新幹線が通っている秋田駅であっても、盛岡駅以西は在来線の線路を利用する区間があることや走行距離の関係から、盛岡駅への移動より長い時間（約139分）を要します。また、新幹線の通っていない気仙沼駅（約129分）との比較においても、新幹線の有無や路線の性質が所要時間に決定的な差をもたらしていることが読み取れます。
問10	答え 1 東北新幹線の沿線で最も駅数が多く、県庁所在地の盛岡市は秋田方面への路線の分岐点となっている。	岩手県は広大な面積を持つことから、東北新幹線の駅数が他の都県よりも多く設定されています。特に県庁所在地の盛岡駅では、東京方面から連結して走ってきた「はやぶさ（東北新幹線）」と「こまち（秋田新幹線）」の切り離し作業が行われるなど、東北地方北部の鉄道交通における結節点として重要な機能を持っています。
問11	答え 1 オホーツク海高気圧から吹く冷たく湿った北東の風により、冷害が発生する	東北地方の太平洋側では、夏に「やませ」という冷たい北東の風が吹き込むことで、気温が上がらず日照時間が不足する気象状況が生じます。これが農作物の不作を招く「冷害」の直接的な原因です。選択肢にある山を越えた高温の風は「フェーン現象」であり、やませとは逆の性質を持ちます。また、夏に本来発達すべき小笠原高気圧（太平洋高気圧）の勢力が弱い年に、オホーツク海高気圧の影響を強く受けてこの現象が顕著になります。
問12	答え 1 人為的な影響をほとんど受けていない世界最大級のブナの天然林が分布し、世界自然遺産に登録されている。	問題文の位置が示すのは白神山地である。白神山地は、人の手がほとんど入っていないブナの原生林が世界的な価値を持つとして評価されている。選択肢の「日本の背骨」は奥羽山脈、「流水」は知床の説明である。また、周辺地域では林業も行われているが、世界自然遺産の登録理由である「原始的なブナ林」を選択することが重要である。